



夕張映画祭/JCF学生映画祭

YOBARIWOOD FILM AWARD



学生よ！ 熱き情熱で夕張の雪を溶かせ！

「夕張の映画の火を消さないで！」を合言葉に、夕張の発展の助力となるという目標の下、1999年のゆうばり国際ファンタスティック映画祭の10周年特別企画で生まれたJCF学生映画祭の関係者(JCF:日本サークル連盟)と学生事務局により、2007年2月、「夕張国際学生映画祭2007」が立ち上がりました(2007年2月25日(日)~28日(水)の4日間開催)。また、夕張において、映画祭が一過性のイベントではなく、映画関連産業等の創出によって経済効果がでることが、地域活性化の観点から重要と考え、<夕張をハリウッドに！:YUBARIWOOD構想>を提唱し、夕張映画社を設立し、映画祭入賞者による映像制作やテレビ番組の制作の実験を行って参りました。

YUBARIWOOD FILM AWARD History

第1回



ゆうばり国際
ファンタスティック映画祭
10周年特別協賛企画
第1回JCF学生映画祭
●1999年2月21日
●夕張市民会館特設ホール

第2回



ゆうばり国際
ファンタスティック映画祭
協賛企画
第2回JCF学生映画祭
●2000年2月19・20日
●夕張市民会館シネサロン

第3回



ゆうばり国際
ファンタスティック映画祭
協賛企画
第3回JCF学生映画祭
●2001年2月16・17日
●夕張市民会館シネサロン

第4回



第4回JCF学生映画祭
in 沖縄
●2002年7月3・7日
●那覇市りうぼうホール

第5回



第5回JCF学生映画祭
in お台場 大江戸温泉
●2004年3月20日
●大江戸温泉

第6回



第6回JCF学生映画祭
in 愛地球博 EXPO
●2005年3月31日
●愛知県EXPOホール

第7回



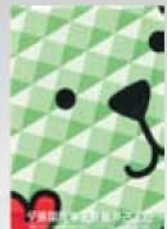
第7回JCF学生映画祭
●2006年9月23・24日
●東京国立博物館

第8回



夕張国際学生映画祭2007
●2007年2月25~28日
●夕張市ホテルシュエパロ

第9回



夕張国際学生映画祭2008
●2008年2月22~24日
●夕張市ホテルシュエパロ

第10回



夕張映画祭2009
●2009年12月11・12日
●夕張市ホテルシュエパロ



GETTI Communications
株式会社ゲッティコミュニケーションズ
東京都港区南青山3-18-5 NOB南青山ビル3F

■お問い合わせは

TEL 03-5410-0666 FAX 03-5410-0680
URL <http://www.getti.co.jp> E mail info@getti.co.jp

夕張国際学生映画祭2008 開催概要

<開催期間>2008年2月22日(金)~24日(日)

<開催場所>ゆうぱりホテルシュエパロ 〒068-0400 北海道夕張市本町2丁目19

<行事内容>①JCF Presents 国内学生映画AWARD……日本国内から集まった学生映画の中から、国内No.1を決定

②VSN Presents 国際学生映画AWARD……世界中から集まった学生映画の秀作から、世界一を決定

③Microsoft Presents 学生ショートフィルムAWARD……「環境」をテーマにした15分以内のショートムービーを募集

④Microsoft Presents 学生PHOTO AWARD……「環境」をテーマに、10枚以内のデジタル写真で表現した作品を募集

<参加費用>無料(一部飲食代を除く)

<主催>夕張国際学生映画祭2008実行委員会

<共催>NPO法人ゆうぱり観光協会

<企画・制作>夕張映画社株式会社

<企画・運営>夕張国際学生映画祭2008事務局

<協賛>マイクロソフト株式会社、株式会社VSN

<オフィシャルパートナー>セイコーエプソン株式会社

<オフィシャルマガジン>Campus Navi Press

<オフィシャルモバイルプロモーションパートナー>株式会社ISAO

<オフィシャル配信パートナー>

株式会社ソニー・デジタル・エンタテインメント・サービス

後援
経済産業省、国土交通省、総務省、北海道、北海道教育委員会、夕張市、夕張市教育委員会、北海道経済連合会、北海道観光連盟、北海道新聞、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、産経新聞社札幌支局、日本経済新聞社、北海道日刊スポーツ新聞社、道新スポーツ、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道、AIR-G 'エフエム北海道、FMノースウェーブ、エフエム東京、株式会社ジャパネフエムネットワーク、北海学園大学、札幌デジタル専門学校、中華人民共和国駐札幌総領事館、フランス大使館文化部、財団法人日本環境協会

協力
北海道夕張高校、夕張市立緑陽中学校、株式会社24-7、夕張りゾート株式会社、株式会社エムディック、原 浩之(PHuUK)、横濱学生映画祭、東京学生映画祭、京都国際学生映画祭実行委員会、JCF学生映画祭、トッピニキーン・エンターテインメント株式会社、有限会社NEW WAVE、株式会社GETTI

入選作品 <過去の実績>



MIZUSIMA INVADER TOWN

Director
豊田 洋通/TOYOTA Hiromichi
倉敷芸術科学大学芸術学部



キャピアガール

Director
中山 珊瑚/NAKAYAMA Sango
上智大学外国語学部4年



ウツロノモノ

Director
上田 達哉/UEDA Tetuya
京都造形芸術大学芸術学部4年



a myth

Director
永井 正人/NAGAI Masato
慶應義塾大学経済学部4年



石に漱がれホトトギス

Director
杉田 このみ/SUGITA konomi
武蔵野美術大学大学院



ざくろの夢

Director
木村 明子/SAITO Noriaki
日本大学芸術学部4年

*各作品に記載されているスペックは応募当時のものです。

スカラシップ制度 <過去の実績>



月川 翔

第5回JCF学生映画祭へ「パラノイア」を出品。グランプリを授賞し2004年の「JCFスカラシップ作品」として「函館港イルミナシオン映画祭」の第7回シナリオ大賞受賞作である「ノーバツ・ガールズ」(作: 森田剛行氏)を映画化する。昨年11月に劇場公開され本年3月22日にDVD化された。他にも「呼吸」「エクリプス」「僕は存在していた」などを制作。



渡辺 崇

2001年「バラグラフ」が東京学生映画祭グランプリを授賞。同年に行われた第3回JCF学生映画祭へ「魚の脳みそ」を出品。第3位を授賞し2002年の「JCFスカラシップ作品」として原孝プロデューサーのもとドキュメンタリー映画「ウチをせかさんといてーある不登校少女の記録」を制作。1年以上に及び期間をかけて作品を完成させ、やまがた2003ドキュメンタリー映画フェスティバルにて上映された。



仲井 陽

第3回JCF学生映画祭へ「鶴譚(ぬえたん)」を出品。グランプリを授賞し2002年の「JCFスカラシップ作品」として、オキナワコンテンツラボにて沖縄県協力のもと沖縄出身俳優、スタッフ等プロを起用した短編映画「364days」を制作。その後、オキナワ・ショート・フィルムフェスティバルの開会式にて上映された。またこの実績により学生の課外活動において優れた成果を挙げた者に贈られる2001年度「早稲田文化賞」を授賞。



GETTI Communications
株式会社ゲッティコミュニケーションズ
東京都港区南青山3-18-5 NOB南青山ビル3F

■お問い合わせは

TEL 03-5410-0666 FAX 03-5410-0680

URL <http://www.getti.co.jp> E mail info@getti.co.jp